

令和3年度 天童市立高揃小学校だより

天童市立高揃小学校
〒994-0068 天童市大字高揃北239番地
TEL023-655-2051 Fax023-655-7650

令和3年度第14号 令和4年1月14日

校長 樋口良彦

〒994-0068 天童市大字高揃北239番地
TEL023-655-2051 Fax023-655-7650

ましみずの里



学校教育目標 「自ら学び、ともに伸びる 一夢に向かう くらしづくりー」

めざす子供像 自ら考え表現し合う子、自ら開きわかり合う子、自ら挑み高め合う子

次なるステージに見合う姿をめざす3学期がスタート

— 多くの皆様に支えられていることを実感しています —

新年、新学期を迎えました。昨年末から例年以上の降雪に見舞われ、年明けも自宅周りの雪の始末に追われる中、始業式の前日に児童の通学路を除雪してくださった方がおられるとお聞きしました。始業式は凍える朝でしたが、児童が通る自宅前歩道の除雪だけでなく、氷となった路面に融雪剤を撒いてくださった方もおられました。交通指導員と子ども見守り隊の皆さんは、児童の足元を気遣い、優しくお声がけいただきました。保護者の皆様には、冬の寒さから身を護る衣類を準備していただき、児童307名の新学期がスタートできました。「幼い児童が辛い思いをしないように…」 「ケガなく学校に到着できるように…」 など、多くの皆様からの温かく深い思いに支えられていることを実感しています。ありがとうございます。

感染症の拡大を心配しています。感染から発症までの期間が短く、感染は爆発的とも称されています。皆様にご協力いただきながら、児童の「いのち」を守る保健指導を続けるとともに、危機には迅速かつ適切な対応に努めます。どうぞ、よろしく願いいたします。

今回の始業式も、全校児童が地位区間に集合することはせず、校長室を会場として、校長の挨拶と代表児童の言葉をオンラインで各教室に配信するスタイルで実施しました。私からは、2学期終業式で伝えた以下の思いを、この日改めて児童に語りました。

- 3学期は、新年度4月から始まる一つ上の学年、次の段階の学校を意識し、そこでやっていける十分な「学力」と「生活力」を身に付けてほしい。
- 授業では、「もっと、もっと」の気持ちを大事にして取り組むこと。「もっと深く、もっと幅広く、そして、もう一回」の気持ちで臨むこと。
- 仲間との生活では、自分が発した言葉とやった行動は消せないし、無くすることはできないから、相手の立場でその人の思い・考えを「想像する」こと、また、自分の言動によってその後がどうなるかを十分「予想する」こと。
- 児童の皆さんが、次の学年にふさわしい姿を求めて毎日を生きることで、きっと「一つ上の自分」に近づけるようになること。

話の最後に、「学校の職員全員が、成長めざしてがんばる皆さんを支え、応援すること」を添え約束しました。

代表児童はこんな決意を語りました。一部を紹介します。

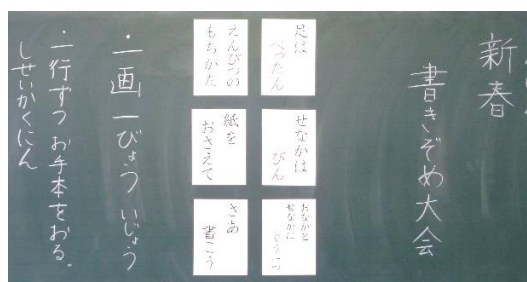
- べんきょうの時に、じっくり考える。友達にやさしくされてうれしかったから自分も優しくする。〔2年児童〕
- 本をたくさん読んで、文章問題が得意になる。練習をして、リコーダーをきれいに演奏できるようにする。授業で、手をあげて自分の考えを発表する。〔3年児童〕



「新春書き初め会」を実施しました

下の写真は、13日（木）に実施した「新春書き初め会」の様子です。年の初めに、心新たに筆をとり日本文化に親しむとともに、作品を互いに鑑賞し合うことでそれぞれのよさに触れ、認め合う態度を育むことをねらっています。1・2年生は硬筆習字、3年以上は毛筆です。「新春の光」や「夢と希望」など、新年らしい課題に挑みました。

各教室では、最初に学級担任が書き初めのねらいや書く際の3つのめあて「文字の中心をそろえること」「文字の大きさとバランスに配慮すること」「文字の形を整えること」を確認してから始めました。用具を揃え、姿勢を整えた後、少しの沈黙を経て担任が開始を指示。そこは、鉛筆が机をたたく音や筆の穂先を整える際に生じるかすかな音だけの空間です。同時にそこは、一気に書き終え満足する顔や思うような出来とならず悔しがる顔など、様々な思いが交錯する豊かな空間でもありました。



天童織田の里歴史館（旧東村山郡役所）の学習展に参加しました

市内各校の児童生徒の学習成果を紹介するこの企画は、今年で26回目を迎えます。授業や総合的な学習の時間等で生まれた作品が出品され、本校は4年生を中心に参加しました。スタンドグラスを背に、竹細工から拓がる柔らかな灯りが印象的です。



